

福島市教育委員会定例会会議録	
1 場 所	福島市役所 9階 903会議室
2 日 時	令和5年4月26日 午前9時00分
3 出席者	教育長 佐藤秀美 教育長職務代理者 渡邊慎太郎 委員 篠木雄司 委員 立花由里子
4 欠席した委員	委員 高谷理恵子
5 説明のため出席した職員	教育部長 三浦裕治 教育部次長兼教育総務課長 長南敏広 学校教育課長 穂積 浩 教育施設管理課長 小関 浩 教育研修課長 柏谷智也 生涯学習課長 遠藤 彰 中央学習センター館長 加藤享司 図書館長 安藤勝章 教育総務課課長補佐兼庶務係長 神野秀樹
6 議事内容及び経過	(1) 開 会 午前9時00分 (2) 日 程 本日1日間 (3) 署名人の決定 委員 渡邊慎太郎 委員 立花由里子 (4) 記録係 教育総務課庶務係主査 藤川哲生

<b>1 教育長報告事項</b>	
会議冒頭、福島市立小学校のいじめ重大事態については、個人情報等を含むことから非公開とすることについて確認、全員の承認を得る。	
・教育費4月補正予算の成立について	
教育部次長（教育委員会定例会提出事項 P4により説明）	
・福島市教育事務評価検証委員の委嘱について	
教育総務課長（教育委員会定例会提出事項 P5により説明）	
篠木委員	新任の宗形先生の福島大学附属校というのは学校の先生なのか。
教育総務課長	福島大学の教授です。
渡邊委員	検証委員の人数は今回3人ということで、ずっと3人でできているのか。文化スポーツが市長部局に移る前は4人だった頃があったようなため確認したい。
教育総務課長	平成30年度まで委員が5人であったが、文化とスポーツが教育委員会から離れたため、その後令和2年度からは3名の委員構成となっている。
立花委員	評価検証委員会の会議のところに、教育委員会が求める課題についてとなっているが、例えば具体的にどういうことを議論していたかのような課題としてあがっているのか。ここで話されたことがどのように教育委員会にフィードバックされてくるのか。
教育総務課長	点検評価については、法律に基づき教育委員会では毎年、事務の管理及び執行の状況について、点検評価を行う。その結果について

	ては報告書にまとめ、9月議会で報告するということと、そのあと一般に公表している。点検評価の対象としては、福島市の教育振興基本計画の中に、19の成果指標を示している主要事業があるため、その主要事業を対象に点検評価を毎年行っている。
	・福島市教育委員会研究委託校・園について
	学校教育課長（教育委員会定例会提出事項 P6により説明）
渡邊委員	研究内容に関して、考える力の育成をめざした教師のコーディネートについてイメージがわからないため、もう少し教えていただきたい。
学校教育課長	令和4年、5年度の小学校・中学校の研究内容について見ていくと、ICT機器の活用や読解力の向上など、具体的に研究内容として設定した。今後5年、6年度については、教育委員会として読解力の向上を含めた中で考える力や、教師としてどのように子どもと教材を繋いでいくのか、子ども同士をどのように繋いでいくのかというコーディネート力の向上ということで、大きな研究内容を示し、あとは具体的には各校で決めて研究を進めていただく方向である。
	・福島市教育委員会学校教育指導委員の委嘱について
	学校教育課長（教育委員会定例会提出事項 P7により説明）
篠木委員	全体的な部分で、年齢構成やベテランの方など、大体のイメージとしてはどのような分布をしているのか。

学校教育課長	学校においても中堅的な立場の教員ということであるが、最近は
	中堅といわれる年齢層の数が少ないということもあり、若い教員
	が委員となることもある。基本はある程度の経験が必要であるた
	め、その学校の中で中堅となる40代ぐらいから50代ぐらいで
	ある。
	・福島市教育委員会中学生ドリームアップ事業推進委員会委員の委嘱について
学校教育課長	(教育委員会定例会提出事項 P8により説明)
	・子どもの体力アップ支援委員会委員の委嘱について
学校教育課長	(教育委員会定例会提出事項 P9により説明)
	・学力向上サポート事業学習支援員の委嘱について
学校教育課長	(教育委員会定例会提出事項 P10により説明)
立花委員	中学校だけが対象なのか。
学校教育課長	本市の学力の課題として、算数、数学ということであるためサポ
	ート事業の支援については、中学校の数学科の支援として中学校
	に配置している。小学校については、学力向上専門の指導主事が
	学校教育課に1名いるため、その者を小学校、今年度は、渡利小
	学校に配置して、授業力の向上・学力向上ということ取り組み、
	他の小学校に広めている。
篠木委員	学力向上の支援と混同してしまったが、去年の中学校の校長先生
	がなっているものはなにか。

学校教育課長	新採用教諭の指導員である。
渡邊委員	中学校の学習支援員は12名という報告であるが、その12名という現状を、どのようにとらえているのか。
	例えば、本当は中学校全校に配置したいが、人が確保できない、あるいは、人はいても予算がないのか。それとも配属すべきところには配属しているため、後はもうその中身を進めるべき状況なのか。
学校教育課長	11校の配置ということで、単純にいけば半分ぐらいの中学校ということであるが、それぞれの中学校の学力の状況等を踏まえた上で、学校からの希望もあるが配置をしているところである。支援員の役割としては、生徒への手厚い支援ができるということを考えると、他の学校においても支援員がいてくれたらという声は聞かれる。予算等の関係もあるため、これについては配置校も含め今後考えていきたい。
渡邊委員	そうだとすると、予算が主にネックになるのか、それともその人材確保の方がネックになるのか、どちらも要因となるのか。
学校教育課長	人材確保もネックになっている。現場においても本務者の講師も足りないということがあるため、人材確保は難しい状況である。
・ふくしま学力調査の実施について	
学校教育課長	(教育委員会定例会提出事項 P11により説明)
立花委員	学年にすると5つの学年に跨るが、福島版の学力調査ということで、いつ頃から実施しているのか。

教育長	令和元年度からスタートしており、令和2年度はコロナのため中止となったため、今回で4回目の実施である。
立花委員	最初に4年生で受けた生徒が5年間でどのように推移したか、これから見えてくるような形となることで理解した。
篠木委員	そのぐらいの期間であると、大体同じパターンの問題になるのか。この間、校長会でも話があったように、単純な漢字や知識を出すようなテストではなく、社会の問題が複雑化していくのと同じような形で色々なものを読み込む、それを考えながら回答していくような感じになっていかないという流れではあると思う。そのような流れは、校長会の話もあったが共感する部分があったので、それを見込んでお願いしたい。
学校教育課長	子どもたちの学力の状況を追って見ていくこともあり、問題については毎年変わっていくよりは、それをベースとした形で作成されている。
教育長	補足だが、ふくしま学力調査は問題が公表されていない。子どもたちがどれだけ難しい問題を解くことができたかというところで、学力がこのように伸びているということを判定していく、統計的に処理をしていくことになる。
・全国学力・学習状況調査の実施について	
学校教育課長	(教育委員会定例会提出事項 P 1 2により説明)
立花委員	英語のスピーキングのテストについては、5名ぐらいのグループに分かれて実施し、かつ全員受験なのか。それとも、ピックアップ

	プされた人たちだけで実施するのか。
学校教育課長	グループは10名から14名程度の小グループにし、1グループ 15分程度で終了する。全員が受験する。
	・福島市公立学校ICT化推進委員の委嘱について
教育研修課長	(教育委員会定例会提出事項 P13により説明)
立花委員	この5名の先生方で、市内の全小・中学校を網羅するのか。
教育研修課長	全体を代表して出ている。
	・福島市教育支援委員会委員の委嘱について
教育研修課長	(教育委員会定例会提出事項 P14により説明)
	・福島市教育支援委員会診断部員の委嘱について
教育研修課長	(教育委員会定例会提出事項 P15により説明)
	・福島市特別支援教育推進協議会委員の委嘱について
教育研修課長	(教育委員会定例会提出事項 P16により説明)
	・福島市総合教育センター運営委員会委員の委嘱について
教育研修課長	(教育委員会定例会提出事項 P17により説明)
	・福島市総合教育センター調査研究協力員の任命について
教育研修課長	(教育委員会定例会提出事項 P18により説明)

2 その他
・今後の日程について
教育総務課長 (教育委員会定例会提出事項 P 19により説明)
① 次回の定例会の開催について
令和5年5月29日(月)午前9時00分から市役所9階903会議室
終了後に協議会を開催。
② 今後の主な行事予定について
教育長・教育委員の出席が予定されている事業を周知。
③ 今後の定例会の開催について
7月定例会は7月5日(水)午後1時15分から市役所9階903会議室で
開催予定
篠木委員 鼓笛パレードは前のように街なかでの実施となるのか。
学校教育課長 街なかでの実施となる。
9時55分休議。
9時55分再開。以下、非公開。
福島市立小学校のいじめ重大事態について
以上終了 午前10時18分
記 録 藤川 哲生
委 員
委 員